



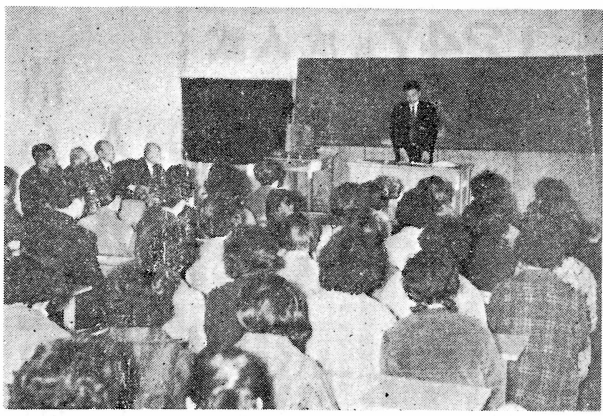
◎生活の基を築く計画貯蓄……各種保険や預貯金

この頃は、年令(とし)は誕生日にともなう正月には関係ないが、切替えている人が多いのだが、中年を過ぎたものには、やはり年

感雑頭年

公民館長 佐藤善次郎

「人生わずか五十年」のうたい文句は、明治大正とともによく聞かれました。今は平均寿命も、男六五



ゆたかな教養を

本年度成人講座

当公民館では、毎年成人式しも左記のとおり実施した。該当者に対し、教養講座を開き、成人式に臨む心構えなどについて指導している。

もあろう。人それぞれ年令や立場によつて、考え方もまちまちである。ただ言ひ得ることは、それだけ多くの人が、それだけ長い期間働けるのであるから、みんなの心の持ち方によつて、もう少し少くとも世の中がよつて来てもよさうなものだということである。

部活学習花ざかり

日夜仕事に追われながらも、暇を惜しんで教養を積もうとする婦人たちが、なるべく多数しかも気軽に集つて、話し合ひをしながら学ぶために、部活毎に又はより小さい階級(程度)を単位とする小回学習(グループ学習)が最もよいとされている。

もりもり勉強しましょう

新しい時代に生きる青年のあり方。沼崎忠誠氏(福島才三小学校長)の講話を深謝した。

明るい選挙メモ(2)

- 無効投票
(1) きめられた投票用紙以外の紙で作つて投票したもの
(2) 候補者でない者の氏名を書いたもの
(3) 二人以上の候補者の氏名を書いたもの
(4) 候補者の氏名に余計なことを書いたもの
(5) 誰れに投票したかわからないもの
(6) 一人の候補者の氏名だけを書き、それ以外のことは一切書かないもの
(7) はつきりと誰れがみてもわかるように書くこと
(8) 投票のし方
(1) 代理投票
(2) 不在者投票
(3) 点字投票
(4) 公明選挙
(5) 運動の話

私はこう見た

公民館で各支部の会を催し、旧年中飯坂(奥郡連)田小(郡連)藤田小(郡連)等で行なわれた「生活問題研究協議会」の伝達研修会を開いた。なるべ

今日からの政治(二巻)

政治というものは、政治といふものは、議員や役人のような政治家がやるもので、私達は口を出すことができないものと思つて、わがわれの身近な問題が政治に結びついていることがわかつた。この映画は三つの部分からできている。

婦人会日記(四巻)

若いお母さんたち、働く婦人たちは、保育所をつくつて下さると婦人会に申し出た。日頃あまり婦人会の会合に出ないが、先生は先生をよんで研究会を開いて、会員がよい幹部たちは、これを機会に自分たちの非をさと、若い民衆を借り、当番制でこれを

映画を話しあひの会

光明寺 九一 二〇
大木戸 一八 三七 五五
山根 二二 一六 三八
計 一〇八 四三 二五一

第三の話(奈良県室生村青年会のグループ活動)

この青年会では、年に一度の祭りにかゝることを唯一の事業として、いろいろお祭り青年であった。こんなことだけに青春の日はけいこを求めているところから、自分に気力、若者たちは、自分の村の発展を研究することにした。「時間と労働」をテーマに、水と労働の関係、道と時間の関係などを痛感して、どうしようも水道と農道の必要を痛感した。若者たちは、これを婦人やおとなたちも共通の問題として話し合つた。やがて村議会でもこれをとりあげ、満場一致で決議し、りつげに完成した。